

取組と目標に対する自己評価シート

タイトル:介護保険事業の適正・円滑な運営とサービスの質の向上

目標を設定するに至った現状と課題

長期的に安定した介護保険財政の運営につなげるため、介護保険事業の適正・円滑な運営とサービスの質の向上に向けて、介護給付費の適正化が重要となる。

当町では、年々総人口の減少が進んでいるが、前期・後期高齢者率は増加している。そんな中、認定率や一人当たりの介護費用額は他市町村に比べ低い値にあるので、これを継続し、安定した介護保険財政を運営して行くことが必要である。また、それぞれの介護サービス利用者に必要な介護サービス量が適正であるかを確認し、給付の適正化を図る必要があります。

第8期における具体的な取組【P】

★給付適正化の推進

- ①地域ケア会議の開催
- ②ケアプラン点検
- ③介護給付適正化システムを活用した介護給付費縦覧審査帳票等のチェック

目標(事業内容、指標等)【D】

- ①地域ケア会議の実施 年間12回
- ②ケアプラン点検 居宅介護支援事業所2カ所
- ③縦覧審査帳票のチェック 毎月実施

目標の評価方法

●時点

- 中間見直しあり
実績評価のみ

●評価方法

目標の年間実施件数

前期(実績評価)【C】

実施内容

地域ケア会議 7件(達成率58%)、ケアプラン点検 2件(達成率100%)、
介護給付適正化システムを活用した介護給付費縦覧審査帳票等のチェック 12回/12月(達成率100%)

自己評価結果【△】 ○、△、×

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため年間計画通りにケア会議を開催することができなかった。

ケアプラン点検については、目標通り管内居宅ケアマネージャーの点検を行った。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部が計画通り実施できず、目標に届いていない内容もあったため「△」とした。

自己評価から考察した課題と対応策【A】

地域ケア会議については、コロナウイルスの影響で開催できない月もあったが、その他は計画どおりに実施できている。

↓

【対応策】

地域ケア会議について、給付の適正化・地域課題の発掘に繋がるため、オンライン開催等も検討し目標回数の実施を達成したい。

【次年度の取り組み】

・町内にある事業所(居宅介護支援事業所、包括支援センター)のケアプラン作成について、考え方や基礎知識などについて、連絡会・研修会等で共有し、給付の適正化に繋げる。